

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所  
平成27事業年度業務実績に関する評価結果の概要（案）

資料 3

大阪府地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所評価委員会  
（事務局：大阪府財務部行政改革課）

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所の各事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所評価委員会による評価を受けることとなっており、平成28年8月31日に開催された平成28年度第3回評価委員会において、平成27事業年度の業務実績の評価結果が決定されました。

全体評価 「全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」

- 4つの大項目全てにおいて、A評価（「計画どおり」進捗している）が妥当であると判断した。
- 委員会コメント

多様な企業ニーズに対応するために、これまで以上に「待ち」から「攻め」へと企業支援体制を整え、企業の課題解決に貢献しただけではなく、簡易受託研究を定着させるとともに、企業との共同研究や競争的研究資金等の外部資金を確保したことは、企業支援と自らの研究開発の両方を計画以上に拡大した成果である。したがって、「A プラス」の評価と言っても過言ではない。

今後も、サービス拡大に向けた新たな取り組みや産技研の機能を更に充実させ、分かりやすく成果を発信し、大阪産業のさらなる発展に積極的に関与していくことを期待する。

住民に対して提供するサービス その他の業務の質の向上	S	A	B	C	D	理事長裁量枠予算を活用した3つのプロジェクト研究の成果を企業等へ発表するとともに、企業との共同研究体制を整えた。 また、「待ち」から「攻め」への企業支援体制構築のため、顧客サービスセンターと各専門科が連携し企業ニーズを探り、さらにリエゾンセンターも支援体制を強化したことで、課題を抱える企業を戦略的に訪問し、十分な実績をあげ、中期計画を着実に実施していることが認められた。
業務運営の改善及び効率化	S	A	B	C	D	経営企画室が中心となって、理事会・経営会議・四半期報告会等を運営する中で、法人運営の重要な方針決定や業務進捗の管理を行い、適切に組織マネジメントを進めた。 また、法人独自の人事評価制度を引き続き実施を行うとともに、消耗品等を取りまとめて購入手続きを行う「集約発注制度」を、試行実施し、事務の効率化を行ったことから、計画どおり進捗していると認められた。
財務内容の改善	S	A	B	C	D	自己収入増加に向けた各種の取組、外部資金獲得のためのサポート体制を整備し、前年度を上回る収入となった。 支出面では予算の効率的・効果的執行により、当期末処分利益として約8,900万円を計上し、財務内容の改善が着実になされていることから、計画どおり進捗していると認められた。
その他業務運営に関する重要事項	S	A	B	C	D	改修計画に基づく施設整備を進めるとともに、皮革研試所については、より高度かつ多様な技術支援が行えるよう機能集約に取り組んだ。 また、設備機器の計画的な導入・保守点検を実施し、安全衛生管理についても、防止策を講じた。さらに、情報セキュリティ体制の強化を行うとともに、リスク管理上の規程順守を徹底したことから、計画どおり進捗していると認められた。

○ 評価区分

- S：特筆すべき進捗状況      A：計画どおり      B：おおむね計画どおり  
C：やや遅れている          D：重大な改善事項あり